

響け！復興のハーモニー

東日本大震災吹奏楽復興支援事業

西阪神吹奏楽連盟

40周年記念演奏会

日時

2017年 5月5日(祝)

開場13:30 開演14:00

場所

西宮市民会館 アミティホール

入場無料

主催：西阪神吹奏楽連盟 後援：兵庫県吹奏楽連盟

ご挨拶



西阪神吹奏楽連盟 理事長 渡辺 秀之

本日は「西阪神吹奏楽連盟40周年記念演奏会」によるこそお越しくございました。心より御礼申し上げます。

当連盟は、昭和53(1978)年「第1回西阪神地区吹奏楽コンクール」としての開催を機に発足いたしました。前年までは全県での「兵庫県吹奏楽コンクール」として開催されておりましたが、昭和53年より県下一斉に地区大会制度となり、2017年で第40回を迎えることとなりました。

その間、得津武史先生率いる西宮市立今津中学校をはじめ、西宮市立上甲子園中学校、宝塚市立宝梅中学校、宝塚市立中山五月台中学校、兵庫県立西宮高等学校が「西阪神地区大会」「兵庫県大会」「関西大会」のステージより代表となって「全日本吹奏楽コンクール」への出場を果たしました。

本日は、コンクールだけでなく主なる行事を振り返りながら、さらなる「未来への夢や希望の実を結ぶ演奏会」として成功を祝えるように願っております。

また、この演奏会は「西阪神地区吹奏楽連盟・東日本大震災吹奏楽復興支援事業」のまとめとしても位置づけ、「東北高等学校吹奏楽部」をお招きしての思い出に残る演奏会としても企画しております。

西阪神地区吹奏楽連盟からは「県立西宮高等学校吹奏楽部」をはじめ、「芦屋市・宝塚市・三田市・篠山市・丹波市の各合同吹奏楽部」、中学校からは「宝塚市立中山五月台中学校吹奏楽部」も東北高等学校吹奏楽部との合同演奏で参加いたします。この演奏会の主旨が皆様に届き、素晴らしいものとなりように願っております。

お力添えいただきました皆様方各位にこの場をかりて御礼申し上げます。ありがとうございました。

【ご報告】

以下にこれまでのご報告内容を掲載させていただきます。

当連盟では多くの皆さま方のご理解、ご協力のもと東日本大震災の復興を願い、東北吹奏楽連盟よりご紹介いただきました学校吹奏楽部に過去5年間に渡ってご支援をさせていただきました。

私たち西阪神地区は芦屋・西宮・宝塚の含まれる地区で、阪神・淡路大震災時にはM7.3にあたる激震を経験いたしました。

絶望にあったその折、東北吹奏楽連盟の各地域の皆様方から心温まるご支援や励ましを賜ったことは計り知れない支えとなりました。私(渡辺)自身も震災後約2ヶ月に予定されていた東北地区の講習会に講師としてお招きいただきお出向いたわけですが、多くの先生方からの地域への激励や私自身への励ましを頂戴したことが今の自分の支えになっております。

あれから20年、当地区では吹奏楽活動も大きな不自由なく活動ができている状況ですが、東日本大震災によって被害を受けられた吹奏楽部に対し、少しでもお役に立てればと、福島県双葉郡大熊町立大熊中学校・宮城県志津川高等学校、気仙沼市立新月中学校・気仙沼市立津谷中学校・宮城県本吉響高等学校・宮城県気仙沼西高等学校、石巻市立桃生中学校・石巻市立渡波中学校・宮城県石巻好文館高等学校・宮城県石巻西高等学校に義捐金としてお渡しさせていただき、購入楽器の写真やお礼のお便りをいただきました。これらの復興支援のまとめとして、この度は周年記念演奏会と共に東北高等学校音楽部をお招きし「演奏会」をいたしました。

Program

1 芦屋市吹奏楽連盟合同バンド

オーラリー

ブラジル

ブルートン作曲 水口 透編曲 ●指揮 戸田 典子

A. バローソ作曲 岩井 直編曲 ●指揮 間瀬 吉浩

2 宝塚市高等学校合同バンド

凱旋行進曲 歌劇「アイダ」より

G. ヴェルディ作曲 F. チェザリーニ編曲 ●指揮 宮脇 晏奈

3 三田市高等学校合同バンド

三日月に架かるヤコブのはしご

真島 俊夫作曲 ●指揮 鷹田 秀人

4 県立西宮高等学校

博奕岬の光

スウィングしなけりゃ意味がない

酒井 格作曲 ●指揮 堀川 恵生

D. エリントン作曲 真島 俊夫編曲 ●指揮 堀川 恵生

5 丹波市中学校高等学校バンド

コパカバーナ

風になりたい

B. マロニワ作曲 岩井 直博編曲 ●指揮 藤本 良太

宮沢 和史作曲 小島 里美編曲 ●指揮 藤本 良太

6 篠山市高等学校合同バンド

イエロー・マウンテンズ

時代劇えきすぶれず

J. デハーン作曲 ●指揮 西野 嘉高

杉浦 邦弘編曲 ●指揮 青野 公彦

<休憩>

7 東北高等学校音楽部

陽はまた昇る

アルセナール

東北地方のための哀歌

アレルヤ・ラムダムステ

花は咲く (合唱付き)

風になりたい

マーチ士官候補生

F. スパーク作曲 ●指揮 山本 大

Y. ヴァンデルロースト作曲 ●指揮 山本 大

A. コミスタ作曲 ●指揮 山本 大

A. リード作曲 ●指揮 山本 大

岩井 俊二作詞 菅野 よう子作曲・編曲 ●指揮 山本 大

●指揮 渡辺 秀之

(宝塚市立中山五月台中学校吹奏楽部合同演奏)

芦屋市吹奏楽連盟合同バンド



私たち芦屋市吹奏楽連盟合同バンドは、潮見コミスク金管バンド（小学生）芦屋市立精道・山手・潮見の3中学校、兵庫県立芦屋高等学校、芦屋学園中・高等学校、兵庫県立芦屋国際中等教育学校、芦屋市吹奏楽団、Bells wind orchestra の芦屋市内9団体からなる合同バンドです。芦屋市吹奏楽連盟は平成元年に連盟が発足し小学生から大人までが吹奏楽を通じて互いの良さを認め合いながらこれまで活動してきました。毎年、年度末には芦屋市吹奏楽連盟定期演奏会を開催し、プログラムの最後には全員が参加

する合同合奏を行ってきました。今回の西阪神吹奏楽連盟 40 周年記念演奏会でも今年の3月に演奏したプログラムを披露させていただきます。芦屋ならではの姿を是非ご覧下さい。

潮見コミスク金管バンド 芦屋市立精道中学校吹奏楽部

芦屋市立山手中学校吹奏楽部 芦屋市立潮見中学校吹奏楽部

兵庫県立芦屋高等学校吹奏楽部 芦屋学園中・高等学校吹奏楽部

兵庫県立芦屋国際中等教育学校吹奏楽部 芦屋市吹奏楽団

Bells wind orchestra の計171名で演奏します。

宝塚市高等学校合同バンド



みなさん、こんにちは。私たち、宝塚北・宝塚西・宝塚・雲雀丘学園・宝塚東の5校は、演奏を聴いてくれる方々に感動と、音楽を楽しんでもらえるよう、日々各学校での練習に励み、少ない合同練習の中でお互いを高めあい、協力して練習してきました。本日演奏する曲は、歌劇「アイダ」より、「凱行進曲」です。この曲は、楽器の演奏と合唱が組み合わさって出来ている壮大な曲です。ヴェルディが生み出した美しい愛の物語を、是非歌と楽器のコラボレーションに注目してお楽しみ下さい。

宝塚市内の5つの高等学校では毎年1、2月頃に合同演奏会を開催しています。各校による単独演奏と5校合同による演奏を披露しています。以下が最近6年間の主な合同演奏曲です。

2012年

ブラジル/交響曲第5番二短調「革命」より 終楽章(ショスタコヴィッチ)

/オーメンズ・オブ・ラブ/ラブソディー・イン・ブルー(岩井直博編曲)

2013年

アルメニアンダンスpart1/宝島/組曲『くるみ割り人形』より花のワルツ

/サザンオールスターズベストヒットメドレー

2014年

パイレーツ・オブ・カリビアン/シングシングシング/フィギュレーション/ルパン三世のテーマ

2015年

第六の幸福をもたらす宿/めざせポケモンマスター/ペルセウス/ジャパニーズグラフィティⅫ

2016年

海へ 吹奏楽のための/パガニーニの主題による幻想変奏曲(バーンズ)/アフリカン・シンフォニー/展覧会の絵

2017年

あなたに/吹奏楽のための第一組曲(ホルスト)/もののけ姫セレクション/セント・アンソニーヴァリエーション

三田市高等学校合同バンド



有馬・三田西陵・北摂三田・三田祥雲館・三田学園・三田松聖の6校で構成された合同バンドです。
最高の演奏を皆様にお届けできるよう

一音入魂

精一杯演奏します。雄大な三田サウンドをお楽しみください！！

県立西宮高等学校



私たち県立西宮高校吹奏楽部は昭和29年に創部され、自然に恵まれた環境で、日々練習を行っています。
“心に響け！県西サウンド”をモットーにコンクールだけではなく、学校や地域の行事への参加やチャリティーコンサートを兼ねた定期演奏会などの活動を通じて、厳しさや苦しさを乗り越えて味わう音楽をする喜び、そして一つにまとまる大切さを学べる部を目指しています。
ご声援よろしくお願いします。

岩本 彩花
蔭木 文香
島崎 礼菜
津田 風季
松山 楓
茂呂 実侑
河合さよ子
曾谷佑衣子
長尾 美月
藤井 乃彩

上田菜々夏
黒瀬 絢音
田頭由紀乃
富永 航平
光山古都乃
山口 幸乃
木原 好香
多田 百華
永尾 萌音
山崎 羽菜

大野 桜
児玉 恵
田中さくら
中井 綾羽
三宅さくら
石川 友葵
阪本 鈴帆
田中 菜摘
萩原 滯生

大宅 実璃
近藤光久仁
田中 真子
原口 奈々
宮本 麻帆
今北 有紀
坂本 広香
田村 優亜
檜垣 歩音

小野 優
佐藤 美月
田中 瑞希
藤野 真由
宗実 桃子
奥田 朝美
城村 愛紗
中尾 智也
堀田 南美

丹波市中学校高等学校合同バンド



私たちの街、丹波市は織田藩陣屋跡や春日局など、歴史にゆかりのある地域です。また、最近では世界的な発見といわれる丹波竜の骨が発掘され、丹波市のマスコットキャラクターの『ちーたん』のモデルにもなっています。さて、今回は初めて3校での合同演奏を行います。まだまだ未熟な演奏ですが、多くの方に楽しんでいただけるステージを目指し、練習をしてきました。ご声援をお願いします。

足立 和志	井澤 晶貴	井上 かりん	井元 更	西村 萌乃佳
森田 莉彩	木下 美奈	橋戸 瑠花	清水 由梨	細谷 碧
谷口 夕季	若狭 葵	吉川 遥	福井 蓮太	高見 知加
若森 野映	荒木 香乃	角木 るな	榎原 楓	山本 明日香
谷川 舞香	酒井 凜	森本 力斗	多田 有祐美	森下 美佳
谷口 幸男	青木 梨紗	松原 加奈	蘆田 祥香	能口 蓮
岩間 由衣	多田 香蓮	志水 結希乃	八尾 真英	畑 あまね
亀井 駿平	石塚 晴賀	田邊 華	長澤 楓子	長井 彩音
北野 梨瑚	小郷 匠	田辺 航太		

篠山市高等学校合同バンド



私たちは、篠山産業高等学校と篠山鳳鳴高等学校の合同バンドです。

篠山産業高等学校吹奏楽部は、最響一撃～玲瓏(れいろう)∞天籟(てんらい)～をモットーに、少人数でも一人一人が奏でる音に思いを込めて、多くの方に元気や感動を与えられる演奏ができるよう練習に励んでいます。「少人数バンドの見本になろう！」という前向きな気持ちで、工夫を凝らしながら演奏しています。また、地域に根付いた活動を大切にしたいと考え、年間を通して校

外での演奏にも積極的に取り組んでいます。

篠山鳳鳴高等学校吹奏楽部は、4月に1年生を迎え、新体制となりました。初心者も多く、日々悪戦苦闘していますが、常に美しい音を奏でられるよう良い演奏をイメージして練習するようにしています。文化祭での公演はもちろん、野球部の応援にも出向き、さらには、丹波篠山デカンショ祭や篠山市民センターまつりなど地域のさまざまなイベントに参加しています。本日は、日頃の練習の成果を精一杯発揮し、少人数ですがこのアミティホールいっぱいに“丹波篠山サウンド”を響かせたいと思います。ご声援よろしくをお願いします。

<県立篠山産業高等学校>

藤原 由衣	西井 珠々
梶谷 凜花	赤井 満里奈
大西 由樹	芝 晃平
佐藤 碧海	永田 美咲
阿部 実ノ里	前田 七海
植野 和奏	蘆田 大空
西垣 めぐみ	増田 楓
杉本 翼	

<県立篠山鳳鳴高等学校>

武元 南緒	王鞍 花	瀬川 奈々美
中山 美沙	村上 菜々子	
森田 華帆	笠井 絢芽	
川崎 紋	熊谷 実菜	
古池 明日香	伊勢 乃奈	
西井 葉瑠菜	細見 瑠生	
溝畑 栞	梶井 美那	
大田 凜	橘 寧々	



TOHOKU

High School Concert Band

東北高等学校音楽部, 981-3214, 宮城県仙台市泉区館 7-101-14 TEL:022-379-6001

音楽部の活動

大正15年10月20日摂政殿下が、宮城県下で行われた陸軍特別演習の統監のため仙台に滞在の際、本校に牧野侍従が派遣されました。このとき特殊技芸として12名の生徒によるハーモニカバンドがメンデルスゾーン作曲 結婚行進曲より「真夏の夜の夢」の一節を演奏しました。これが音楽部の前身と思われます。昭和2年12月には音楽部(ハーモニカバンド)として発足、昭和4年9月には音楽部が軍楽隊(クラリネット・バリトン・コントラバス・太鼓・小太鼓)喇叭鼓隊(中喇叭2台・小喇叭4台)で小規模で新設されました。昭和6年からは各地への出張演奏も行っていました。終戦を迎えた昭和24年頃県内の吹奏楽団は本校にしかなく演奏を通しての国際親善にも一役担っていました。



そして、楽団として力量が確認されたのは昭和30年の関東吹奏楽団コンクール(現在の全日本吹奏楽コンクールAクラス)第3位の入賞でありこの時の米軍第4通信大隊楽隊が指導として援助をしていました。また、昭和34年には部員45名ではあったが活動は大変盛んであり県外でも演奏活動を行っていました。その後ブラスバンド部と呼ばれます。

しかし、スポーツが盛んになるにつれて運動部員の増加でブラスバンド部への入部も減り活動も衰退し昭和54年から新体制で復帰を願ったが昭和56年にCクラス県大会金賞を受賞を最後に吹奏楽人口の減少の煽りを受けブラスバンド部の存続が危ぶまれ昭和57年よりブラスバンド部(24名)とギター部(8名)とが併合し音楽部となりマーチングバンドとしての新たな再スタートをしました。その後、わずか5年で部員も70名程に膨れ上がり全国大会の常連校となり東北の中心的なバンドとして、各種イベント・式典・招待演奏・音楽教室・施設訪問・海外遠征等の幅広い分野での活動を行っており平成7年には、共学に伴い女子生徒の入部もありましたが少子化による生徒減少で18名となり平成12年の国民体育大会総合開会式公開演技(宮城国体)を最後にマーチング編成から吹奏楽編成に転向し吹奏楽を中心とした活動となりました。

現在では、70名程の部員で、復興支援・各種大会・式典演奏・イベント・福祉ボランティア等の活動しております。これからも、皆様に親しまれるバンドをめざし日々練習に励んでいきたいと思っております。

楽器BANKの活動

震災から1週間程度たってライフラインの一部復旧とともに少しずつではあるが震災の全体像が明らかになり、ネット環境の復旧で全国の音楽家や団体から安否確認のメールや電話が入るようになりました。

そして、3月末に県吹連事務局へ1通のメールが届きました。「震災で楽器を失った子供たちに楽器を送らせてください。」の内容でした。このことを受け4月2日夜に緊急役員会を招集し今後のことについて話し合われました。そして、音楽の復興を願い「宮城県楽器BANK」の発足に至りその運営を東北高等学校音楽部が担うことになりました。

東北高等学校音楽部の受け入れ態勢については、学校施設の被害が最小であり部員の被災状況も軽微でありました。また、学校側の協力で集荷施設・作業施設の提供と音楽部の楽器輸送トラックと大型バスを利用できることが挙げられました。そして、私立高校であり独立した運用が可能であることから4月4日から即時運用を開始することができました。初めての取り組みであり先の見えない状況であったが希望とともに手探りで進めることとなりました。



これまでに1300台を超える楽器と1万点に及び用品が届き、被災地3県の130団体あまりに寄贈いたしました。

そして、2011年の追悼コンサートを始めサントリーホールでの復興支援コンサートを被災地ごとに開催いたしました。現在は、楽器の支援から人材派遣・消耗品の支援・復興支援コンサートなどの活動支援を行っています。

参加メンバー

角川 夢依	Fl	平川 恭子	Hr
武田 絵寧	Fl	本多 友里愛	Hr
菊地 秋賀	Cl	伊藤 優花	Hr
安倍 綾香	Cl	熊谷 奈子	Hr
橋本 萌枝	Cl	平 裕樹	Tb
山本 詩織	Cl	九里 葉菜	Tb
赤間 優	Cl	炭村 健一	Tb
遊佐 生成	Cl	工藤 健一	Tb
大内 悠子	Cl	伊藤 汐李	Eup
天野 千笑	Cl	笠松 愛実	Eup
鹿野 緑	Cl	赤間 剛士	Tuba
紺野七瑚海	Cl	石川 理沙	Tuba
只木 香海	Ob	十枝内 希	Tuba
大平 かり	Ob	横山 陽南	Tuba
倉持 友香	Fg	細川 美咲	S.B
金 千聖	Fg	伊藤 類	Perc
宮下 奈緒	A.Sax	佐藤 央基	Perc
七戸 乃亜	A.Sax	平野 ゆき	Perc
高橋 沙綾	A.Sax	小西 詩乃	Perc
伊藤 雅美	T.Sax	井上 直央	Perc
高橋 美結	B.Sax	竹内 大裕	Perc
佐藤 至恩	Tp		
武者 奈倫	Tp		
白石麻衣奈	Tp	遠藤 昇	顧問
松本 佳純	Tp	山本 大	指揮者
須藤ゆりの	Tp	岡本 純人	スタッフ

これまでご支援いただきました西阪神吹奏楽連盟の皆様にご礼申し上げます。本当にありがとうございました。

宝塚市立中山五月台中学校吹奏楽部



本校は、「全日本吹奏楽コンクール」に13回出場させていただいております。ここ4年間は連続出場もさせていただいており、「私達も!」と頑張っているところです。

地域でのコンサート活動も盛んに行う中、全国各地から演奏会にもお招きいただき、昨年は遠く浜松市での全国中学生交流演奏会に参加させていただいたり、お茶やすみれで有名な天竜区春野町での演奏会にも出演させていただきました。

全校生徒数は240名と少なく、びっくりされることも多々ありますが、部員約60名はチームワーク日本一で大きなバンドに負けないよう頑張っています。

今回の演奏会では、東北高等学校吹奏楽部さんとジョイントをさせていただけることを大変楽しみにしています。中学生の私達が高校生の方々と一緒にさせていただけるのは大変光栄なことです。

本日は2017年の3.11「東日本大震災」の復興を願うとともに、西阪神吹奏楽連盟40周年をお祝いする気持ちで、東北高等学校吹奏楽部の皆さんと一緒に思い出に残る演奏をしたいと思います。

山内 悠生	田淵 瑞希	細見 京香	辻本 絢音	三瀬 穂乃花	箱崎 裕美
横山 ななみ	小田 美沙希	森 彩花	岩部 穂佳	井阪 仁美	西 菜々香
岡田 華実	棚橋 麻衣	島村 萌水	松下 祐花	小田 果歩	今関 結
粕谷 花音	岡田 彩佳	茶木 美優	黒木 れの	花谷 格	山田 隼士
別所 和弥	菰渕 一花	岡田 皓幹	花田 壮一郎	下川 亜月	吉富 生楽
金 美里	高木 優月	中南 貴幸	中西 真歩		

